小矢部市埋蔵文化財調査報告書第74冊

富山県小矢部市

平成25年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報

２０１４年３月

小矢部市教育委員会

例　　言

1．本書は、2013（平成25）年度に富山県小矢部市教育委員会が、国庫補助事業として実施した市内遺跡発掘調査等事業の概要報告書である。

2．調査は、小矢部市教育委員会が実施した。ただし、金屋本江遺跡は株式会社エイ・テックに業務支援を委託した。担当は次のとおりである

調査事務：大野淳也（生涯学習文化課主任）

現地調査　金屋本江遺跡：吉田有里（株式会社エイ・テック 文化財調査部）

その他の遺跡：大野淳也

3．現地調査の作業員は、㈳富山県シルバー人材センター連合会から派遣を受けた。

4．本書の編集・執筆は基本的に大野が担当したが、金屋本江遺跡については吉田氏に執筆を依頼した。

5．土層の色調については『新版　標準土色帳』（小山正忠・竹原秀雄編著、1967）に準じている。

6．出土遺物及び記録資料は、小矢部市教育委員会が一括して保管している。

目　　次

事業の概要 …… 1
市内遺跡発掘調査等事業一覧 …… 2
市内遺跡発掘調査等事業位置図 …… 3
金屋本江遺跡 …… 4
大勢町遺跡（1）・（2） …… 7
桜町遺跡（1）・（4） …… 10
報告書抄録

事　業　の　概　要

平成25年度の概要

2013（H25）年度に小矢部市内において実施した埋蔵文化財の発掘調査等は21件である。いずれも市内遺跡発掘調査等事業として国庫補助を受け、試掘調査を21件実施した。そのほか、工事立会１件に対応した。さらに開発行為の事前協議、民間・個人による小規模開発、農地転用・農業振興地域除外申請に伴う問い合わせ等が60件以上あった。

調査の原因は開発行為別にみると、宅地造成、個人住宅建設、集合住宅建設、携帯電話基地局設置、農業関係施設建設、土砂採取、公共事業に伴うものなどがある。事業の原因者は、個人８件、民間事業所９件、公共団体４件である。特に今年度は、消費税増税前の駆け込みの影響とみられる個人および民間事業所による建物建設を原因とするものが多く、11件の試掘調査を実施した。また、民間事業者による粘土や砂利を目的とする土砂採取が原因の調査も昨年に引き続き２件実施した。

以下、試掘調査以外の調査について概要を報告する。試掘調査の結果については本書次項で報告する。

工事立会

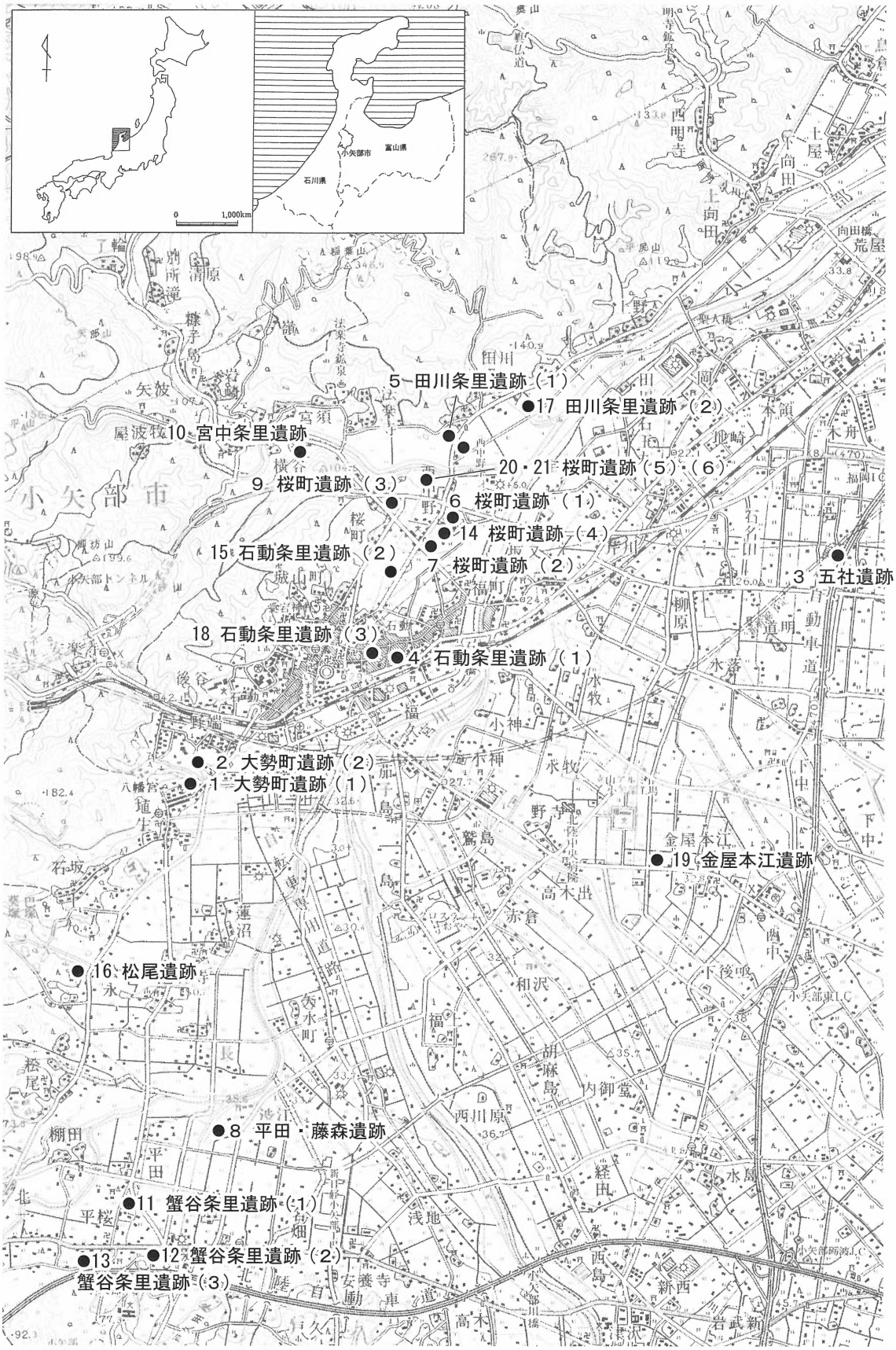
工事立会は、小矢部市の北東部に位置する田川条里遺跡（田川遺跡と田川三角山西遺跡の範囲も含む）で行われた土地改良総合整備事業の工事に伴い昨年に引き続き実施した。工事内容は農道下に埋設された既存管水路の改修であり、既に撹乱を受けた部分の再掘削が主で、遺物等は確認されなかった。

田川条里遺跡の工事立会

市内遺跡発掘調査等事業一覧

No.	遺　跡　名	所　在　地	調査対象面積 (掘削面積)	調査種別	現地調査等 期　　間	調　査　結　果	調査原因
1	大勢町遺跡（1）	埴生403-1	1,367.66㎡ (50㎡)	試掘調査	25.4.10	遺構確認されず。 土師器、近世陶器出土。	宅地造成
2	大勢町遺跡（2）	埴生字北反畝 1793-1	2,227.80㎡ (70㎡)	試掘調査	25.4.16	遺構確認されず。 土師器、土師器椀出土	宅地造成
3	五社遺跡	五社354番２	214.02㎡ (20㎡)	試掘調査	25.6.6	遺構、遺物確認されず。	携帯電話 基地局建設
4	石動条里遺跡（1）	小矢部町1145	627.7㎡ (20㎡)	試掘調査	25.6.25	遺構、遺物確認されず。	集合住宅 建設
5	田川条里遺跡（1）	田川7382外	22,593㎡ (120㎡)	試掘調査	25.7.9～11	遺構確認されず。 土師器、須恵器、近世陶器。	パイプライン 敷設
6	桜町遺跡（1）	西中野字込角 633-1外	7,011.58㎡ (248.07㎡)	試掘調査	25.8.5～7	溝、穴（時期不明）検出 遺物確認されず。	産業団地 造成
7	桜町遺跡（2）	西中野262-1	497㎡ (10.5㎡)	試掘調査	25.8.8～9	遺構、遺物確認されず。	個人住宅 建設
8	平田・藤森遺跡	渋江2048-1	5,326㎡ (43㎡)	試掘調査	25.8.20～21	遺構、遺物確認されず。	駐車場建設
9	桜町遺跡（3）	桜町字中出 1794-2外	1,198㎡ (50㎡)	試掘調査	25.9.11～12	遺構確認されず。 土師器出土。	医療施設建設
10	宮中条里遺跡	横谷21番６	380㎡ (10㎡)	試掘調査	25.9.13	遺構、遺物確認されず。	個人住宅 建設
11	蟹谷条里遺跡（1）	平桜6135外	8,795㎡ (195㎡)	試掘調査	25.9.25～27	遺構、遺物確認されず。	土砂採取
12	蟹谷条里遺跡（2）	平桜6431外	923㎡ (30㎡)	試掘調査	25.10.8	遺構、遺物確認されず。	店舗拡張
13	蟹谷条里遺跡（3）	平桜6389番２	1,614㎡ (60㎡)	試掘調査	25.10.9	遺構確認されず。 近世陶器出土。	農業関連 施設建設
14	桜町遺跡（4）	西中野字硲 275外	786.33㎡ (40㎡)	試掘調査	25.10.24	遺構確認されず。 土師器、須恵器出土。	集合住宅 建設
15	石動条里遺跡（2）	畠中字背戸反 保582番５	260㎡ (20㎡)	試掘調査	25.11.5	遺構確認されず。 近世陶器出土。	個人住宅 建設
16	松尾遺跡	松尾5178番１	222.15㎡ (20㎡)	試掘調査	25.11.6	遺構、遺物確認されず。	駐車場造成
17	田川条里遺跡（2）	田川7051-1外	1,148㎡ (80㎡)	試掘調査	25.11.27	遺構確認されず。 土師器出土。	パイプライン 敷設
18	石動条里遺跡（3）	新富町1034番	587.48㎡ (6.4㎡)	試掘調査	25.12.17	遺構、遺物確認されず。	個人住宅 建設
19	金屋本江遺跡	金屋本江 457-1外	7,900㎡ (404.9㎡)	試掘調査	26.1.8～21	柱穴、土坑、溝（時期不明） 中世土師器、青磁、珠洲、砥石 煙管、木製品、漆器椀	土砂採取
20	桜町遺跡（5）	法楽寺西中野 入会字道島 1-1外	499㎡ (10㎡)	試掘調査	26.3.11	遺構、遺物確認されず。	個人住宅 建設
21	桜町遺跡（6）	宇治新885-1 外	743.8㎡ (10㎡)	試掘調査	26.3.12	遺構、遺物確認されず。	個人住宅 建設

市内遺跡発掘調査等事業位置図



（1:50,000）

金屋本江遺跡

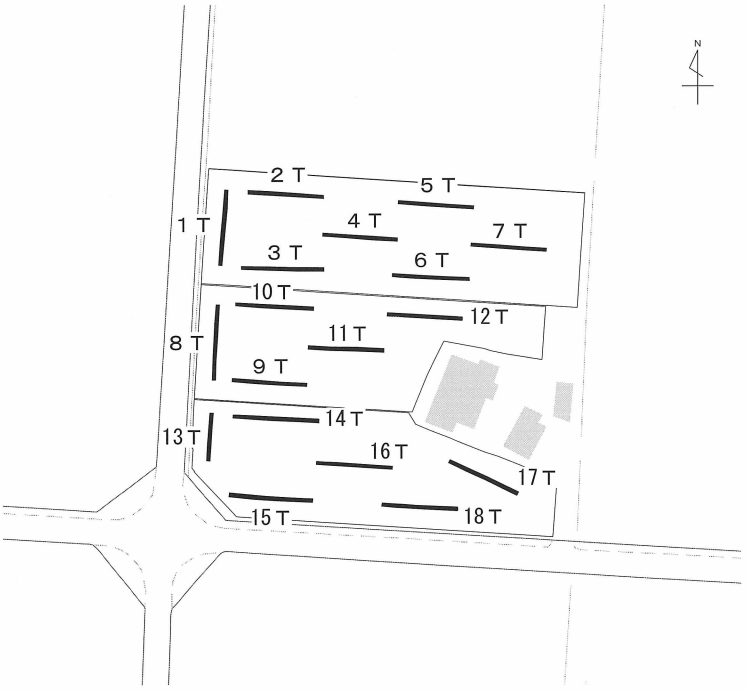
第１図　調査位置図
（１：5,000）

１．調査の概要

今回の調査は土砂採取工事に先立つ、金屋本江遺跡の埋蔵文化財包蔵地試掘調査である。今回の調査対象面積は7,900㎡である。

本調査地区は遺跡の中央よりやや南側に位置し、標高は31～32mである。

試掘調査は平成26年１月８日～21日の実働８日で実施した。調査は幅1.0mの試掘トレンチを南北方向に３本、東西方向に15本の計18本を設定した。重機によって表土を掘削、平面および断面を人力により精査した。最大掘削深度は120㎝、掘削面積は約404.9㎡である。基本層序はⅠ層：暗褐色土（水田耕作土）、Ⅱ層：暗赤褐色土、Ⅲ層：にぶい黄橙色シルト（遺物包含層）、Ⅴ層：黒色粘土（地山）、Ⅵ層：明青灰色～暗青灰色粘土（地山）、Ⅶ層：青灰色～明黄褐色砂（地山）、Ⅷ層：明黄褐色粗礫（地山）、Ⅸ層：褐灰色粘土（地山）、Ⅹ層：明黄褐色粗砂（地山）である。Ⅲ層は中近世遺物包含層で、１～７トレンチに分布しているが、遺物が集中していたのは１～３トレンチである。３・５～７・９～12・14～16トレ



第２図　　トレンチ位置図（S=１／2,000）

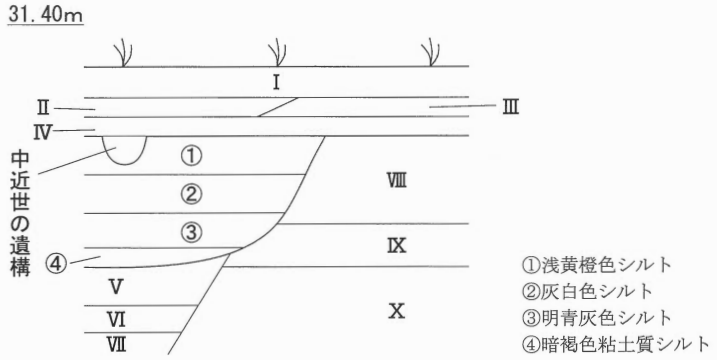
ンチで上面で中近世の遺構を検出した浅黄橙色シルト層の下層である明青灰色シルト層から須恵器が１点出土しており、堆積の状況から古代以前の河道である可能性がある。

２．遺構

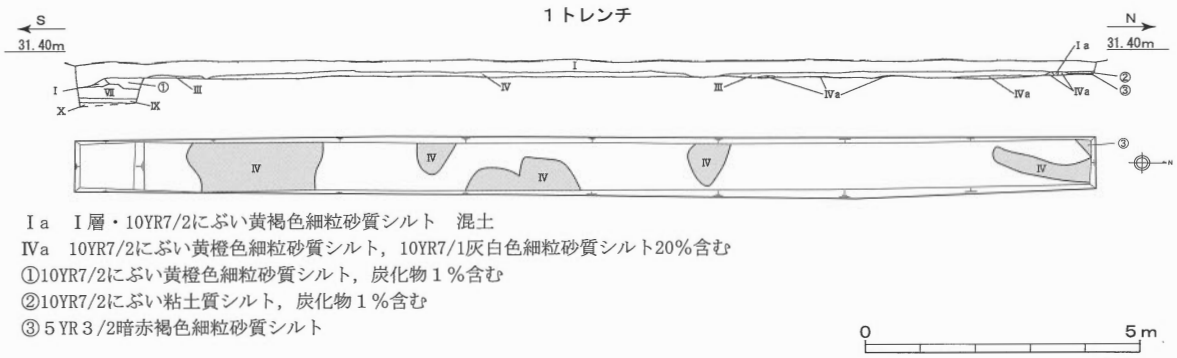
各トレンチで土坑状・溝状・ピット状の遺構を検出した。覆土は１～７トレンチではⅣ層を基調とし、８トレンチ～18トレンチではⅠ・Ⅱ層を基調とする。Ⅱ層からはプラスチック片が出土しており、近年の土地改良時の盛土である。Ⅳ層を覆土とする遺構の上面からは中近世の遺物が出土している。

３．遺物

Ⅰ層からは土師器、須恵器、珠洲、青磁、近世陶磁器が出土している。Ⅲ層からは土師器、須恵器、珠洲、青磁、煙管、砥石、玉髄剥片、木製品が出土している。１～９は土師器である。１～５は非ロクロ成形、６はロクロ成形である。４～６は口縁部にヨコナデを施し、６は強いヨコナデが施されている。時期は13世紀である。10は須恵器の杯Ａである。11～17は珠洲である。11・12は鉢の口縁部および底部である。11は吉岡康暢氏の編年（吉岡1994）では、Ⅰ～Ⅱ期（13世紀前半）に位置付けできる。14～17は甕の胴部片である。外面は平行叩き、内面は当て具痕を残す。18は青磁椀である。体部がほぼ直線的に開き、端部を丸くおさめる。時期は12世紀後半～13世紀である。19は泥岩製の砥石である。20は銅製の煙管の雁首である。羅宇との接合部付近に橘紋が彫られている。形状から18世紀前半頃のものである。



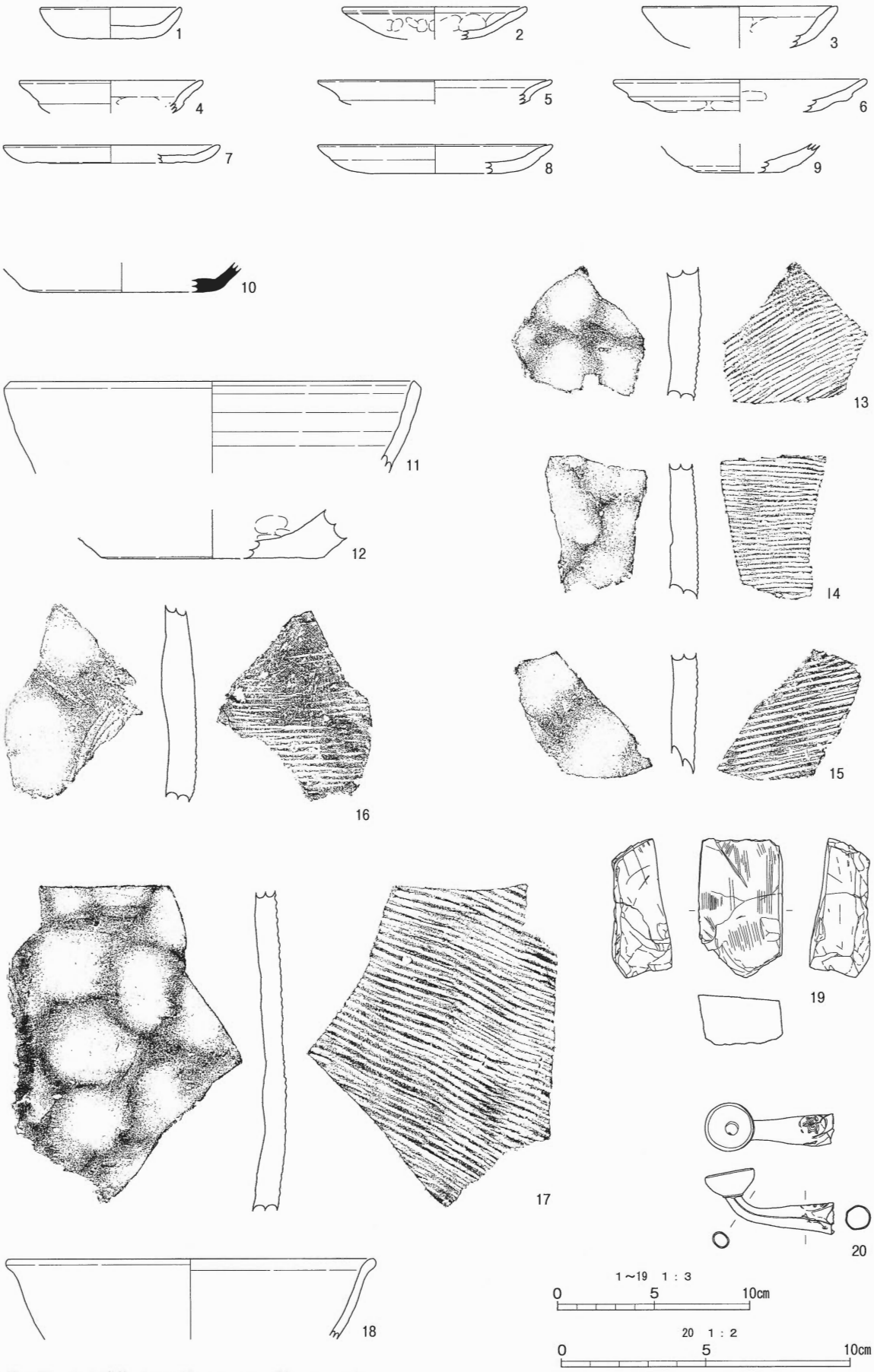
第３図　基本層序（１：40）



Ⅰa　Ⅰ層・10YR7/2にぶい黄褐色細粒砂質シルト　混土
Ⅳa　10YR7/2にぶい黄橙色細粒砂質シルト，10YR7/1灰白色細粒砂質シルト20%含む
①10YR7/2にぶい黄橙色細粒砂質シルト，炭化物１%含む
②10YR7/2にぶい粘土質シルト，炭化物１%含む
③５YR３/2暗赤褐色細粒砂質シルト

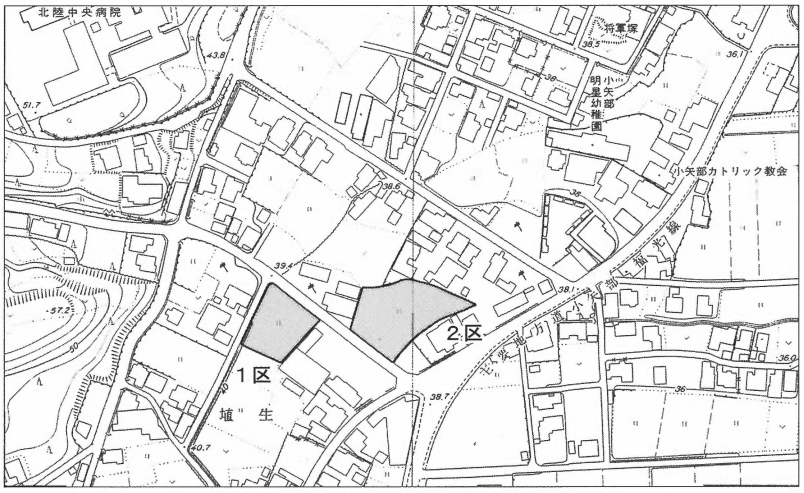
第４図　１トレンチ平断面図（１：150）

参考文献
吉岡康暢　1994　『中世須恵器の研究』　吉川弘文館
古泉　弘　2001　「喫煙２　煙管」『図説　江戸考古学研究辞典』Ⅳ江戸の生活文化　２喫茶・飲酒・喫煙　江戸遺跡研究会



第５図　出土遺物（１～19　１：３，20　１：２）

大勢町遺跡（1）・（2）



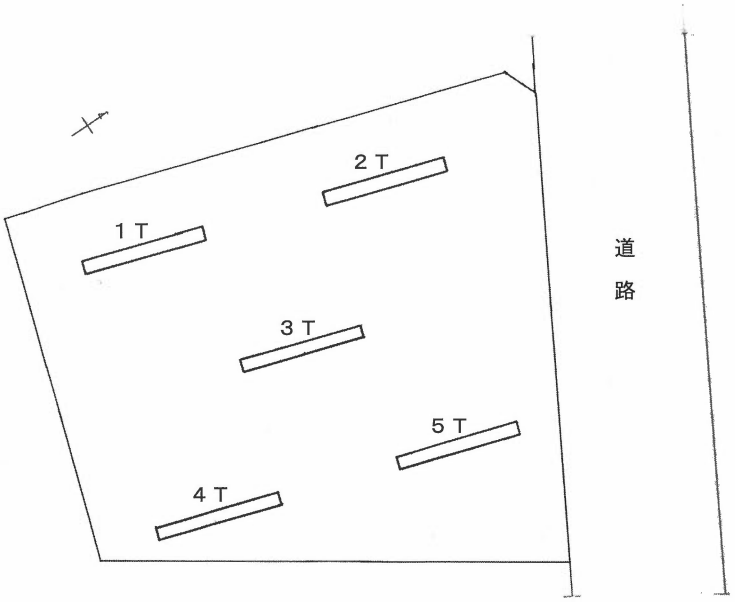
第６図　調査位置図
（1:5,000）

１．調査の概要

大勢町遺跡は市街地西方の段丘上に位置し、標高約40mを測る。1982年（昭和57）に実施された埋蔵文化財分布調査時に新たに設定された遺跡で、かつて野端遺跡と呼ばれた地点を含んでいる。

今回の調査は宅地造成に先立つもので、市道を挟んだ南北２地点で実施した。

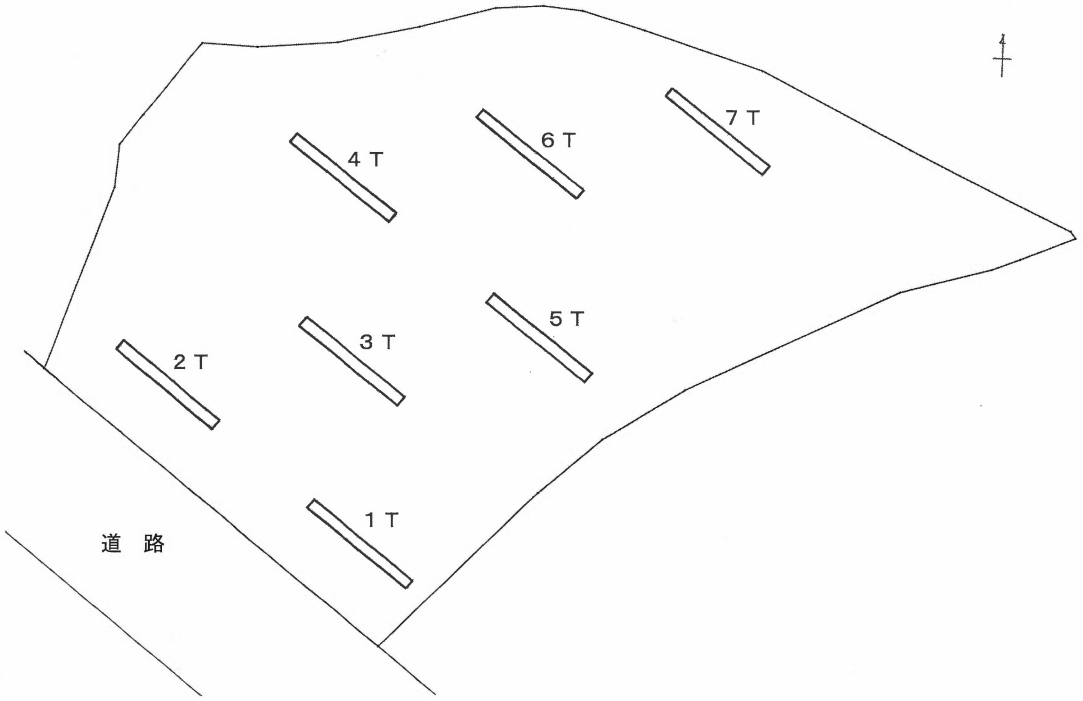
南側の１区の現地調査は2013年（H25）４月10日に実施した。調査対象地内に１m×10m程の試掘トレンチを５本設定した。重機械により掘削し、平面及び断面を人力により精査した。最終的な掘削深度は最大で80cm前後となった。基本層位は１層：黒褐色シルト（耕作土）、２層：黄褐色シルト（盛土）、３層：黒褐色シルト、４層：オリーブ灰色砂質シルトである。調査の結果、遺構は確認されなかったが、２Ｔから土師器と近世陶器の破片が各１点出土した。土師器は細片で詳細な時期の判別は困難である。



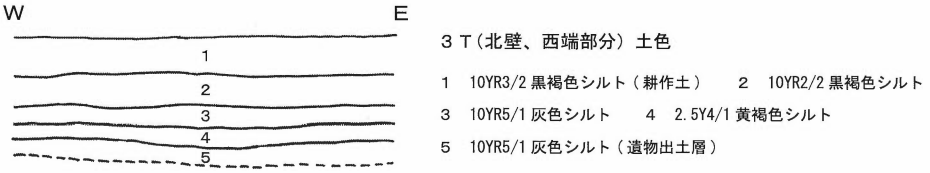
第７図　１区トレンチ位置図（1:600）

北側の２区の現地調査は2013年（H25）４月16日に実施した。調査対象地内に１m×10m程の試掘トレンチを７本設定した。重機械により掘削し、平面及び断面を人力により精査した。

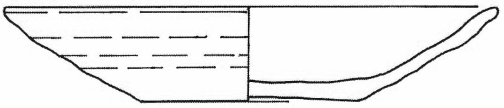
最終的な掘削深度は最大で１m前後となった。基本層位は１層：黒褐色シルト（耕作土）、２層：黒褐色シルト、３層：灰色シルト、４層：黄褐色シルト、５層灰色シルトである。３層と４層には葦の根とみられる植物質のものが多く含まれており、湿地化していた時期があったことが推察される。遺構は確認されなかったが、３Ｔから糸切りの底部をもつ土師器の無台椀が１点出土した（第11図）。口径が13cmほどのもので、11世紀代のものとみられる。



第８図　２区トレンチ位置図（1:600）

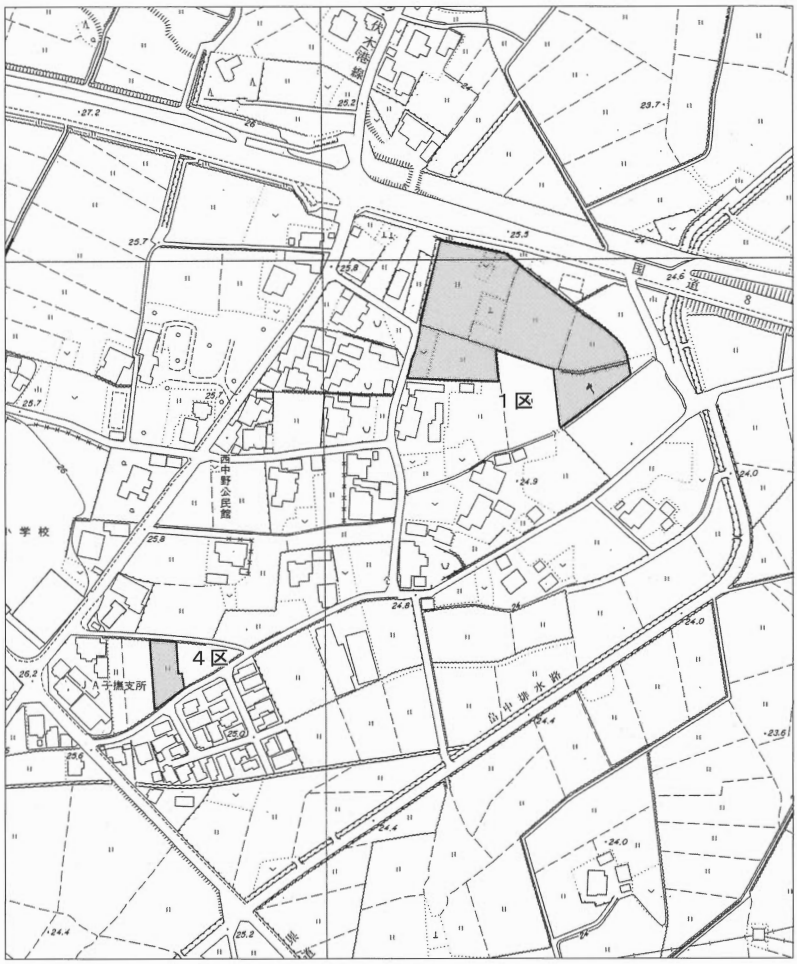


第９図　２区基本層序（1:40）



第10図　出土遺物（1:2）

桜町遺跡（1）・（4）



第11図　調査位置図
（1:5,000）

1．調査の概要

桜町遺跡は市街地の北方、小矢部川と子撫川の合流部付近に所在し、子撫川右岸の自然堤防上に立地する。今年度は遺跡内において４件の調査を実施したが、ここではそのうち、遺跡の東側で行った１件目と４件目の調査について報告する。１件目は東部産業団地造成予定地の一部で遺跡の北東部、４件目は集合住宅建設予定地で遺跡の中央東部にあたる。以下、1件目の調査地を１区、４件目の調査地を４区と表記する。

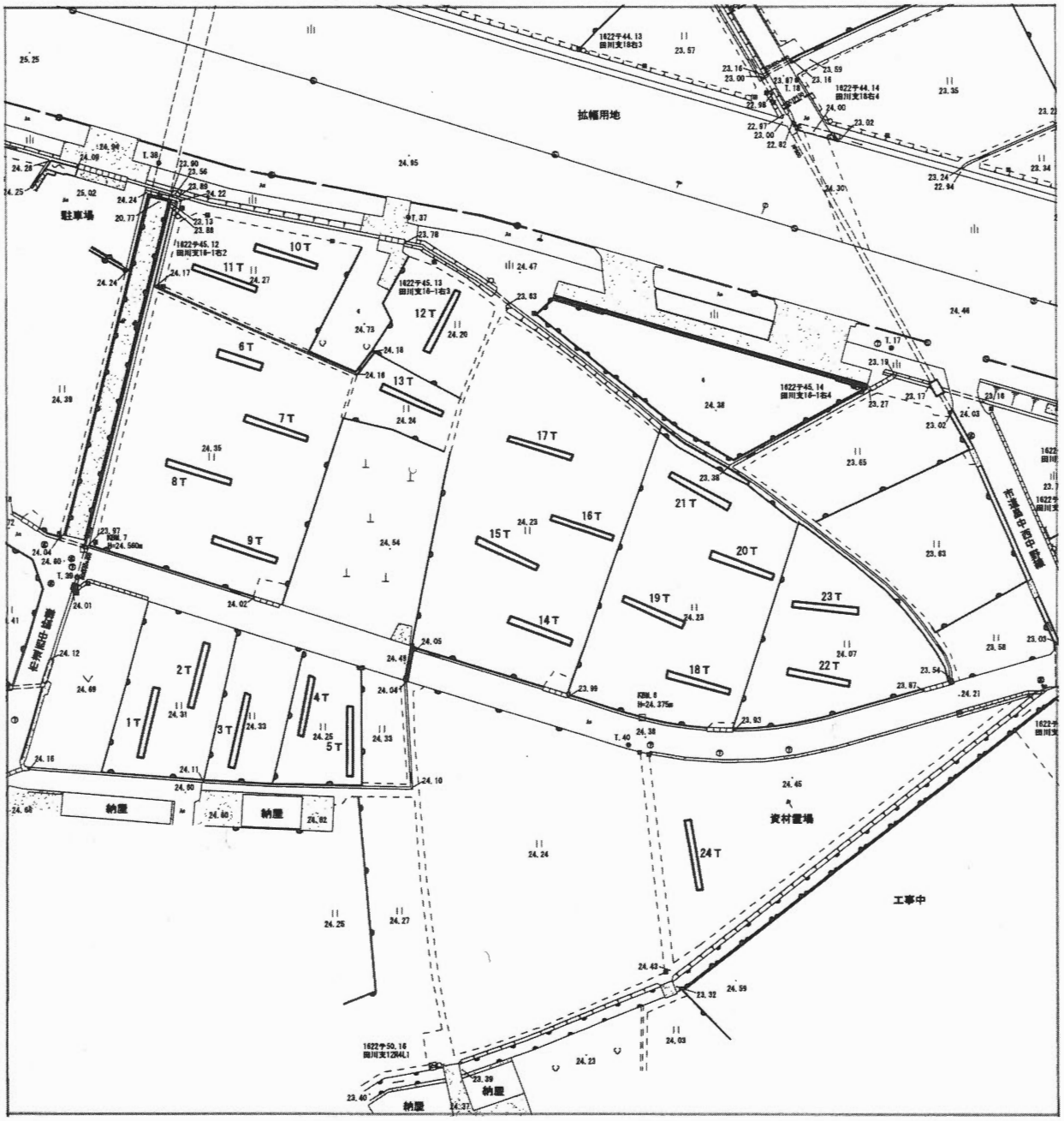
1）１区

現地調査は2013年（H25）年８月５日から７日の３日間で実施した。調査対象地内に１m×10m程の試掘トレンチを24本設定した。重機械により掘削し、平面及び断面を人力により精査した。

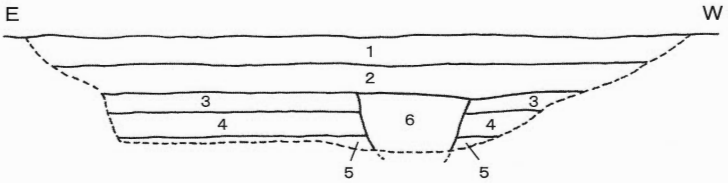
最終的な掘削深度は最大で130cm前後となった。基本層位は１層：灰黄褐色シルト（耕作土）、２層：灰色シルト、３層：黒褐色シルト、４層：黒褐色シルトと灰オリーブ色質土の混土層、５層：灰オリーブ色質土である。

遺構は、６Ｔの３層上面で幅120cm程の溝を１条と、16Ｔの５層上面で直径20cm程の小型の穴を１基検出したが、遺物は検出されなかった。

第12図　１区トレンチ位置図（1:1,000）



第13図　６Ｔ南壁土層図（1:80）



土色

1　10YR4/2灰黄褐色シルト（耕作土）　2　5Y4/1灰色シルト（やや粘質）　3　2.5Y3/2黒褐色シルト　4　３層に５層がブロック状に40%混入

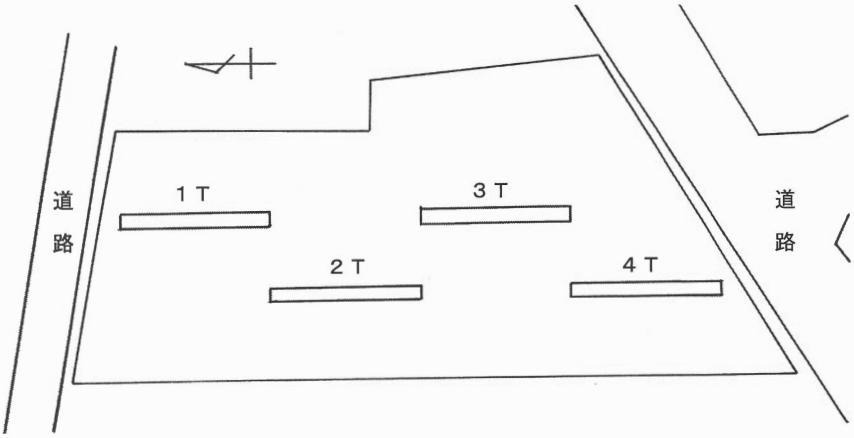
5　5Y6/2灰オリーブ色粘土　6　7.5Y4/1灰色シルト（やや粘質）に炭粒少量混じる（溝埋土）

2）４区

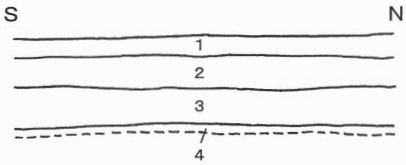
現地調査は2013年（H25）年10月24日に実施した。調査対象地内に１m×10m程の試掘トレンチを４本設定した。重機械により掘削し、平面及び断面を人力により精査した。最終的な掘削深度は最大で70㎝前後となった。

基本層位は１層：暗灰黄色シルト（耕作土）、２層：暗緑灰色シルト、３層：黒褐色シルト（遺物包含層）、４層：にぶい黄色粘質土である。

遺物は、３Ｔにおいて須恵器と土師器が出土した。すべて小片で図示できるものは無いが、土師器の長胴甕の破片とみられるものには内面に須恵器と同様の同心円状の文様をもつ当て具痕が認められ、その特徴から８世紀後半頃のものと推察される。遺構は検出されなかった。



第 14 図　４区トレンチ位置図（1:500）



３Ｔ（西壁、南端部分）土色

1　2.5Y5/2 暗灰黄色シルト（耕作土）
2　7.5GY4/1 暗緑灰色シルト
3　10YR2/2 黒褐色シルト（遺物包含層）
4　2.5Y6/4 にぶい黄色粘土

第 15 図　基本層序（1:40）

２．まとめ

国道８号の西中野交差点付近では、過去の調査で遺構・遺物ともにある程度まとまって検出されているが、東に50mほど離れた今回の１区の調査結果により、遺跡の北東部では遺構・遺物の分布が急激に希薄となることが判明した。

また、従来あまり調査が実施されていない遺跡中央東部分に位置する４区の調査では、遺構は確認されなかったものの古代の遺物が一定量検出され、該期の分布範囲がこの付近にも広がっていることが確認できた。

報 告 書 抄 録

ふ り が な	へいせいにじゅうごねんどおやべしまいぞうぶんかざいはっくつちょうさがいほう
書 名	平成25年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報
シリーズ名・番号	小矢部市埋蔵文化財調査報告書第73冊
編 著 者 名	大野淳也　吉田有里
編 集 機 関	小矢部市教育委員会
所 在 地	〒932-8611　富山県小矢部市本町１番１号
発 行 年 月 日	西暦2014年３月27日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北 緯 °′″ 世界測地系	東 経 °′″ 世界測地系	調査期間	調査対象 面積(㎡)	調査原因
かなやほんごういせき 金屋本江遺跡	おやべし 小矢部市 かなやほんごう 金屋本江 457-1ほか外	16209	163	36° 39′ 39″	136° 53′ 52″	20140108 ～ 20140121	7,900	土砂採取
おおぜいまちいせき 大勢町遺跡(1)	おやべし 小矢部市 はにゅう 埴生 403-1	16209	038	36° 40′ 03″	136° 51′ 18″	20130410	1,367.66	宅地造成
おおぜいまちいせき 大勢町遺跡(2)	おやべし 小矢部市 はにゅうあざきたたんせ 埴生字北反畝 1793-1	16209	038	36° 40′ 04″	136° 51′ 21″	20130416	2,227.80	宅地造成
さくらまちいせき 桜町遺跡(1)	おやべし 小矢部市 にしなかのあざこみかど 西中野字込角 633-1ほか外	16209	021	36° 41′ 14″	136° 52′ 46″	20130805 ～ 20130807	7,011.58	産業団地造成
さくらまちいせき 桜町遺跡(4)	おやべし 小矢部市 にしなかのあざはざま 西中野字硲 275ほか外	16209	021	36° 41′ 07″	136° 52′ 37″	20131024	786.33	集合住宅建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
金屋本江遺跡	散布地	中世	穴、土坑、溝	土師器、須恵器、珠洲、中世土師器、青磁、砥石、煙管、木製品、漆器椀	
大勢町遺跡(1)	散布地	古代	なし	土師器、近世陶器	
大勢町遺跡(2)	散布地	古代	なし	土師器	
桜町遺跡(1)	集落	古代	穴、溝	なし	
桜町遺跡(4)	集落	古代	なし	土師器、須恵器	

小矢部市埋蔵文化財調査報告書第74冊

富山県小矢部市

平成25年度 小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報

発　行　日　　平成26年３月27日

編集・発行　　小矢部市教育委員会

〒932-8611　富山県小矢部市本町１－１

ＴＥＬ　0766-67-1760

印　　刷　　トッププリント